



花とアートで千秋公園を 観光の目玉に!

[秋田市観光クチコミ大使]

(株)NHKエデュケーショナル 執行役員

市川克美氏

NHKで教育テレビを中心に番組制作をしてまいりました。現在はこれまでの経験を活かし、教育テレビ専門の制作会社NHKエデュケーショナルで内部統制担当の役員をしております。番組制作で直接秋田に取材に伺えないのが残念ですが、名刺交換の際には、秋田クチコミ大使の名刺も必ず添えて、秋田の観光、とりわけ日本酒の魅力をお伝えすることで、仕事関係の方々、友人知人に秋田の良さを語り続けています。

秋田での思い出と活動

50代半ば、そろそろ定年退職も視野に入ってきたことから、地域放送局での勤務を志願し、赴任したのが秋田でした。全くご縁の無いところでしたが、地域の皆様がNHKをととても大切にくださり、沢山のご支援ご協力を得ることができました。おかげさまで、秋田の底力と公共放送の全国ネットワークを掛け合わせて、思い出深い仕事をすることが出来ました。

平成26年には、地域のスポーツ＝バスケットをテーマにしたドラマ『ザ・ラスト・ショット』を制作、大きな反響を呼びました。平成27年には、秋田の大きな課題である『人口減少』をテーマに、番組だけでなく、ウェブとアートによるキャンペーンを繰り広げ、NHKの地域放送局の取り組みとして、昨年度第1位の評価を頂戴しました。

県外から秋田市はどう見えているか

角館の町並みと桜、大曲の花火は皆さんご存知ですが、秋田市エリアに話を向けると印象が薄くなります。「提灯行列がありますね？」⇒私「秋田竿燈です」、「なまはげはいますか？」⇒私「駅前の飲み屋に出没しますが、本当は男鹿です」、といったやりとりを何度したことでしょうか。県としての秋田のイメージが大きいため、秋田市となると曖昧になってしまうようです。

秋田市に魅力的な観光スポットを作ろう

「秋田市のここに絶対行ってみたい!」(特に若い女性たちに)と言われるような魅力的な観光スポットを作ることを提言したいと思います。本誌第82号で高橋裕次郎さんも触れていらっしゃいましたが、千秋公園(久保田城址)の整備の充実をお願いしたいですね。私は、平成26年秋の国民文化祭で、千秋公園が花とアートで飾られて、素晴らしい景色になったことを忘れることができません。

久保田城は、全国的にも珍しい石垣の無いお城です。その「柔」のイメージを活かして、桜、つつじ、あやめ、蓮、紅葉など四季折々の草花、そして新美術館と連携して、現代アートを城跡に展開するのです。いつ行っても心が癒され、新たな発想が生まれる場所となるに違いありません。文化会館の建て替え、JR秋田支社の敷地の再開発など周辺整備の機運も高まっています。

大切なのはイメージを共有すること

名古屋や金沢では、歴史的な考証に基づいて櫓や門、長屋など城の設備の復元が進められています。千秋公園にもそうしたランドデザインが欠かせません。建築、歴史、造園、美術等の専門家の知見を活かしてランドデザインを作り、秋田市のリーダー層がイメージを共有することが大切です。地元、全国、外国の人も楽しみに集う花とアートに満ち溢れた千秋公園、決して夢物語ではないと思うのです。

■略歴

昭和33年	神奈川県生まれ
昭和56年	東京大学教養学部教養学科卒業 同年 日本放送協会(NHK)入局
平成22年	NHK制作局音楽・伝統芸能番組部長
平成25年	NHK秋田放送局長
平成27年	現職

秋田市観光クチコミ大使とは…秋田市に縁のある経済人や転勤等で過去に秋田市に在住経験のある方々を委嘱し、身近な人々へのクチコミやインターネットでの情報発信を通じて、秋田市の観光PRにご協力いただいている。